

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S35		現計画	再評価時点
事業名	高潮対策事業 (一) 淀川水系神崎川	着工年度	S35	総事業費	609億円	609億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	4億円	4億円
事業区間	尼崎市大高洲町～戸ノ内町			完成予定年度	H50	-
所在地	尼崎市			進捗率 (内用補進捗率)	30% (100%)	25% (100%)
事業の目的				事業内容		
昭和25年9月ジェーン台風(浸水面積2,207ha、浸水家屋31,900戸)により甚大な高潮被害を受けた。 このため、当該地域の浸水被害を防止するため、高潮被害を防止するとともに、洪水に対する治水安全度1/200を目標に改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。				計画流量 Q=4,300m ³ /s (治水安全度 1/200 : 神崎橋) 実施内容 L=7,958m W=404m～58m 護岸、掘削、道路橋4橋、鉄道橋3橋等		
進捗状況	昭和35年に着手し、これまでに高潮堤を完成させるとともに、掘削、横断構造物の改築等を行い、治水安全度1/10を確保できた。 再評価時点(H10)からH15までに、阪神西大阪線橋梁改築(H11完)、猪名川合流点部の河床掘削を行い治水安全度の向上を行ってきた。今後も事業の重点化と効率的な事業執行に努め、H50年度に事業完了させる予定である。 また、河川整備計画を現在検討作業中である。					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	・高度に都市化した尼崎市南部市街地、鉄道(JR、阪神)、国道(2号、43号)、公共施設(市役所等多数)等を浸水被害から守るため高潮堤、掘削、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施している。また、当該区間の改修の進捗は上流猪名川の改修にも大きな影響を及ぼす。したがって、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。					
(2)有効性・効率性	・B/C = 20.6 ・対岸を管理する大阪府と工事箇所やスケジュール調整を行い、効率的な事業執行に努めている。					
(3)環境適合性	・河床堆積物の浚渫に際しては、水質汚濁防止など適切な対策を行う。					
(4)優先性	・背後地が高度に都市化した市街地であるとともに、当該河川の治水安全度は低い。このため、沿川市街地を浸水被害から防御する当該事業の優先性は高い。					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			